

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	防犯ボランティア支援事業の推進			担当部局庁	生活安全局			作成責任者		
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	生活安全企画課			生活安全企画課長 高須一弘		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「世界一安全な日本」創造戦略 (平成25年12月犯罪対策閣僚会議決定・閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「犯罪の起きにくい社会」を実現するために、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、地域のシステムとして定着化を図り、活動の更なる活性化を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進するため、防犯ボランティア活動の裾野を広げ、質の向上を図ることを目的としたフォーラムを開催し、先進的な活動を行う団体の活動内容を全国に発信する。また、自主防犯活動を持続可能なものとして維持・強化するためニーズに応じた活動支援策を検討する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	6	24	23	8				
		前年度から繰越し								
		翌年度へ繰越し								
		予備費等								
	計	6	24	23	8	0				
	執行額	5	18	22						
	執行率(%)	83%	75%	96%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	防犯ボランティア活動の活性化・定着化	防犯ボランティア団体数 (防犯ボランティア団体数の長期的な数値目標が示されていないため、中間目標の設定不可)	成果実績	団体	47,084	47,532	48,060			
			目標値	団体	46,673	47,084	47,532			
			達成度	%	100.9	101	101.1			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	防犯ボランティアフォーラムの開催回数	活動実績	回	6	12	12				
		当初見込み	回	6	12	12				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	年間執行額/防犯ボランティアフォーラムの開催回数	単位当たりコスト	千円	785	1,471	1,892				
		計算式	年間執行額/開催回数		4,710千円/6回	17,658千円/12回	22,699千円/12回			
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	業務委託費	8								
	計	8	0							

政策評価、 経済・財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	市民生活の安全と平穩の確保							
	施策	総合的な犯罪抑止対策の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度
		地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重要犯罪)	実績値	件	14,604	13,856	-		
			目標値	件	14,347	14,504	-		
		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度
	地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住宅対象侵入犯罪)	実績値	件	75,819	65,140	-			
		目標値	件	81,598	87,789	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業の成果目標である防犯ボランティア団体数の増加によって、総合的な犯罪対策の推進に貢献することができ、政策目標の達成に寄与したものと考えられる。								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	防犯ボランティアの活動は社会における安全安心の確保において大きな役割を果たしてきたものであり、この活動を活性化させ、持続可能な活動としていくことは国民の求めるところである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	団体の活動や運営に関する優れたノウハウ等を知るためには、先進的な取り組みを行う全国との団体との意見交換等を行うことがより効果的であることから、全国規模で実施する必要がある。また、防犯に関する専門的知識が求められることから警察において実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「世界一安全な日本」創造戦略において、防犯ボランティア等の「安全形成システム」を持続可能な形で強化・補完することが重要な課題とされており、当該事業の優先度は極めて高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により、支出先を決定しており妥当である。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により、適切なコストで契約している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	防犯ボランティア団体を支援するためのフォーラム開催費等、必要なものに限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の見直しにより、今年度より予算を一本化し、効率的に実施されている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	前年度と比較し、団体数が増加している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込どおり実施している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
点検・改善結果	点検結果	当該事業については、一般競争入札により契約業者を決定しており、コスト面等について適正なものとなっている。また、防犯ボランティア団体についても前年度と比較して増加している。	
	改善の方向性	一般競争入札により競争性は確保されているところであるが、今後も引き続き、適正な運用に努める。また、当該事業により防犯ボランティアの団体数は増加しているものの、未だ活動上の課題がみられることから、今後も課題の解決を図り、持続可能な活動となるよう必要な支援を継続していくこととする。	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

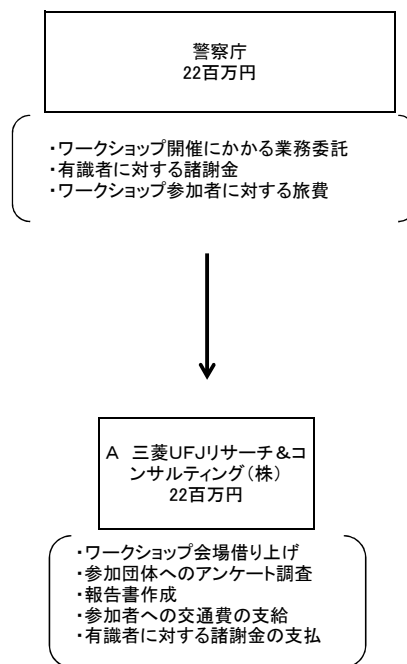
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	14-1	平成23年度	10	平成24年度	6		
平成25年度	1	平成26年度	1	平成27年度	0001		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	外部委託	持続可能な安全・安心まちづくりの推進方針に係る調査研究委託費	22			
	計		22	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

支出先上位10者リスト

A.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	3010401011971	調査研究委託	22	一般競争入札	1		
2								
3								
4								
5								

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載